

令和3年度 事業報告書・収支決算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー

令和3年度事業活動報告

I 事業の概要

令和3年度は当財団が地域連携DMOとなって4年目を迎え、関係機関との連携を深めながら、公益目的事業の3本柱である「公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業」「公2 コンベンションを中心としたMICE支援事業」「公3 公共施設管理運営事業」について事業計画を策定し事業推進に取り組んだ。

全国的にワクチン接種等の取り組みが進みコロナウイルス感染症の一定程度の収束がみられたが、変異株の発生により、当地域において8月8日にまん延防止等重点措置の適用、8月20日には緊急事態宣言がなされるなど、再び市民生活、経済活動が制限され、当地域の観光業の本格的な回復には至らない一年となった。

「公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業」については、8つの基本戦略のもと、浜名湖観光圏整備推進事業をはじめ、従前からの観光地域づくりに加え、コロナウイルス対策に留意して事業を展開した。

主なものとしては、コロナ禍において、当地域の魅力をウェブ上で発信する、YOUTUBE「ジェンヌちゃんねる」を月4回ペースで動画配信し、「海の湖 HAMANA ジェンヌ」による当地域の特徴的な観光施設や店舗、イベント等を積極的に紹介した。

また、当地域の特産品を拡販する事業として、東海郵政局とタイアップし、地域特産品カタログ「浜松・浜名湖よくばり三昧」を作成した。このカタログにはこの地域の13事業所19商品を掲載し、4月1日から7月31日まで販売したところ、当初の想定を超えるものとなった。さらに、コロナ禍での観光をフックとした飲食店周遊施策として「がんばろう浜名湖の飲食店 うまいもんスタンプラリー」を1月8日から3月6日まで期間中にまん延防止措置の発令があったものの実施した。

インバウンド事業については、アフターコロナを見据え、するが企画観光局と共同で富士山静岡空港の団体カウンターでの窓口案内と情報発信PRを開始した。また、受入環境整備として、公式の多言語HP「Through Hamamatsu, Meet Japan」を構築。8か国語（英語、繁体字、簡体字、タイ語、韓国語、ポルトガル語、フランス語、ベトナム語）で観光施設や宿泊施設、アクセス、コロナ対策等の情報整備を行った。

インナープロモーションとして実施している、小中学生向けの海の湖教科書については、「魚介編」「お祭り編」「野菜、果物編」の3種類に加え、新たに「花・木編」を発行した。浜松市及び湖西市の小学校5、6年生の各クラスに1冊ずつ配付したほか、関連施設や市内書店でも販売をしている。

国内の今後のワーケーションニーズの高まりを見据え、観光庁の「新たな旅のスタイル促進事業」としてウェルネスに特化したワーケーションを企画し、浜松ウェルネス推

進協議会や聖隷福祉事業団保険事業部との連携のもと、ウェルネスワーケーションの実証事業を実施した。

なお、観光DXの取組としては、静岡県との共同事業として顔認証決済の実証事業を館山寺・弁天島地区の15施設で実施したほか、アメイジングガーデン浜名湖の構成庭園の3Dコンテンツ化を実施した。

次に、「公2 コンベンションを中心としたMICE支援事業」については、約2年間にわたって長引くコロナ禍の影響を強く受け、今年度においても、新型コロナ感染症拡大の波にあわせた開催中止・延期が増加し、MICE誘致営業活動の機会も大きく制限された。

こうしたなかで、特に学会・大会においては、中止・延期よりもハイブリッド開催やオンライン開催の比率が高まり、ウィズコロナ時代のニューノーマルな開催形態の定着化が進展した。また一方で、現地開催を見据えた会場確保を行いつつ、ハイブリッド開催やオンライン開催の準備を進める主催者が増加しており、これまで以上にMICE誘致段階から開催に至るまで、多様な主催者ニーズに寄り添ったMICE開催支援を行う必要性が増してきている。

今後も引き続き、安全安心なMICE開催支援の継続的な取組とともに、浜松・浜名湖地域ならではのリアルな体験や地域の魅力発信を強化し、さらなる誘致拡大につなげられるよう、新たなMICE誘致支援活動を推進する。

「公3 公共施設管理運営事業」については、JR浜松駅構内にある浜松市観光インフォメーションセンターにおいて、当地域を訪れる観光客に対し案内業務を実施し、昨年並みの利用者が訪れていた。しかし8月20日、静岡県が緊急事態宣言区域に指定されたため、昨年同様、窓口業務を中止し電話対応のみに変更する措置をとったことから当該期間の利用者は皆減となった。

案内業務のほかまん延防止措置、緊急事態宣言期間中の開館、閉館施設の情報を収集し、情報発信を行った。

Ⅱ 公益目的事業活動報告

公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業

浜松市、湖西市及び周辺地域の産業、文化、歴史などの資源を活用し、行政、観光施設、民間団体・企業等との連携を図り、地域のブランド確立を目指して、調査、分析に基づく戦略策定と、戦略に基づく効果的・効率的な情報発信を推進するとともに、観光客の誘致及び受入により交流人口の拡大を図り、観光まちづくりの推進と地域社会の健全な発展を目的とする。

1 観光地域づくり戦略策定・管理事業

(1) 観光地域づくり戦略計画（3カ年計画）に基づく事業の実施、管理

- ・観光圏満足度調査のアンケート結果や、外部・内部環境分析から4つの戦略骨子（積極化戦略、差別化戦略、改善戦略、防衛戦略）を策定。戦略骨子に基づき、8つの基本戦略と具体的な事業事項、目指すべきKPIを設定し、事業を実施中。

★ 8つの観光戦略に基づく事業の実施、管理

① 効果的な情報発信の整備

- ・公式HP「浜松・浜名湖だいすきネット」の定期的な記事更新
- ・地元女性インフルエンサーチーム海の湖HAMANAジェンヌの活用
- ・HAMANAジェンヌ公式YouTubeチャンネルによる地域情報の動画発信
- ・公式Facebook、Instagram、Twitterによる情報発信

② 顧客の囲い込み策の構築

- ・ワーケーション事業「ロングステイHAMANAKO」の実施
- ・浜名湖ウエルネスワーケーションの実施
- ・顔認証決済サービス実証事業

③ 観光商品の開発と誘客促進

- ・テクニカルビジットの推進
- ・浜松パワーフードの推進
- ・着地型旅行商品販売サイト「ちよい旅」への掲載商品の拡充
- ・郵便局物販カタログへの特産品と体験商品の掲載

④ サービスの品質向上

- ・おもてなし規格認証「金」認証の取得促進
- ・宿泊施設向け品質認証プログラム「サクラクオリティ」の周知

⑤ 広域周遊施策の推進

- ・浜名湖花フェスタのデジタルスタンプラリー
- ・アメイジングガーデン浜名湖と連携した花の集印帳事業

- ・アメイジングガーデン浜名湖と NEXCO とのドライブプラン
- ・ヤマハのレンタルバイクを活用したバイクツーリズムの促進
- ・南信州観光公社との相互誘客のための PR
- ⑥ インバウンド受入環境整備
 - ・SNS (Facebook) の多言語化 (英語、タイ語、繁体字)
 - ・多言語 HP (英語、タイ語、簡体字、繁体字、韓国語、フランス語、ベトナム語、ポルトガル語) の運営
 - ・台湾、香港向け着地型旅行商品の現地旅行代理店による販売
- ⑦ 観光インフラの整備促進
 - ・杏林堂と連携した湖西連峰、奥浜名湖、天竜のトレイルルートの PR
 - ・浜名湖サイクルツーリズム推進会議 (書面) の開催
 - ・浜名湖サイクルツーリング/ハマイチ 2022 の開催
- ⑧ 地域との協働
 - ・静岡文化芸術大学の地域連携演習ゼミとの連携
 - ・浜松学院大学の社会人向けイノベータープログラム支援

○KPI の設定

①地域 KPI

延べ宿泊数、来訪者満足度、旅行消費額 (日帰り、宿泊)、リピーター率
外国人宿泊者数、誘致会議における経済波及効果

②重要組織 KPI

ブランドコンセプトに関する来訪意向
域外の来訪者から得られる収益額

③組織 KPI

海の湖ブランド認知度、公式 HP ユニークユーザー数
SNS フォロワー数 (Facebook)

2 観光地域づくり推進事業

(1) 浜名湖観光圏整備推進事業の運営管理

① 観光地域づくりマネージャー会議の開催

現状の事業進捗の報告と観光地域づくり、マネージャーの役割について改めて考え、課題の共有を行った。

・開催：1回 (8/20)

② 浜名湖観光圏戦略会議の開催

浜名湖観光圏構成員の責任者、観光地域づくりマネージャー等で構成する戦略会議を上期は書面開催。観光圏事業全体の進捗確認、コロナ禍における事業

計画の変更などを行った。下期は感染対策をした上でリアル開催。事業報告を行った。

・開催：2回（8/25、3/18）

③ 浜名湖観光圏整備推進協議会総会の開催

開催日：令和3年4月6日

内 容：令和2年度事業中間報告、令和3年度事業計画及び収支予算（案）

※書面決議

開催日：令和4年3月25日

内 容：令和3年度事業報告及び収支決算（中間報告）

令和4年度事業計画及び収支予算（案）

④ 全国観光圏推進協議会へのオンライン参加

全国13観光圏の担当者が会しての活動状況報告、観光庁他国の関係機関などによる観光施策に関する最新動向の提供、全国観光圏共同で実施する事業の調整などを行っている。

・観光圏推進協議会（会議）への出席

開催：5回（5/10、7/13、9/7、12/7、3/8）

・人材育成研修、観光地域づくりマネージャーレベルアップ研修への参加（1名）

(2) 観光地域づくりプラットフォームの確立

① 各観光協会、観光事業者等との事業等のマッチング、すり合わせの実施

・浜名湖花フェスタ2022実行委員会への参画

・静岡文化芸術大学との連携推進

・浜松学院大学との連携推進

・ウェルネスワーケーションの推進

・顔認証決済実証事業の実施

・浜松・浜名湖観光地域づくり協議会の農泊事業との連携

・浜松・三ヶ日農泊推進協議会との連携

・南信州観光公社との相互誘客PR

② 民間事業者との連携事業の検討

・郵便局物販サービスとの浜松・浜名湖カタログの販売

・アメイジングガーデン浜名湖の3Dコンテンツ化

・浜名湖花フェスタデジタルスタンプラリー企画の実施

・アメイジングガーデン浜名湖とNEXCOドライブプランの連携

・賛助会員を中心とした飲食店回遊施策の実施

3 地域の魅力創造事業

(1) 滞在プログラム造成事業

- ① 「海の湖」ブランド体感プログラム開発事業
- ・浜名湖観光圏オリジナル商品である「浜名湖の真ん中で愛を叫ぶ」の販売。
 - ・市内 10 企業と連携したテクニカルビジットの推進
 - ・天竜浜名湖鉄道との連携による、IP コンテンツ活用事業（シンエヴァンゲリオン劇場版）
- ② 浜名湖サイクルツーリズム推進事業
- サイクリストの受入態勢や商品の企画造成、広域連携によるサイクリングの魅力増幅・発信を行っている。
- ・浜名湖サイクルツーリズム推進会議の開催：9/28 書面開催
 - ・10/24、11/7、1/22 サイクリング走行会（サイクルツーリズム商品調査）
 - ・12/20～3/20 レンタサイクル・バイシクルピット施設満足度調査
 - ・第 19 回目となる「浜名湖サイクルツーリング/ハマイチ 2022」の開催
 実行委員会：4/19 第 18 回大会の反省、11/1 実施概要の決定
 第 19 回大会は、昨年度に続きコロナ対策として 2 日間(3/12、13)の分散開催にて実施
 応募人数 823 名（実走人数 719 名：1 日目 445 名、2 日目 274 名）
 - ・ナショナルサイクルルート認定に向けた関係者との連携
 太平洋岸自転車道ナショナルサイクルルート記念ミーティング@浜松への参加：9/27
 - ・太平洋自転車道×浜名湖接続ルート実走ワークショップの実施：11/30
 - ・地域のサイクリストを巻き込んだガイドサイクリストの育成
- ③ 浜名湖舟運と SA ゲートウェイ開発推進事業
- ・浜名湖 SA 舟運に係る富士川楽座との意見交換：7/5、2/3
- ④ ガーデンツーリズム推進事業
- 7 つの庭園で構成される国土交通省認定のガーデンツーリズム「アメイジングガーデン浜名湖」の取組として、推進会議の開催や共通入場券の販売を開始。
- ・ガーデンツーリズム推進会議：6/25、2/25
 - ・NEXCO と連携した共通入場券付きドライブプランの造成
 - ・構成庭園の 3D コンテンツの制作
- また、今年度で 7 回目となる浜名湖花フェスタについて、回遊性向上について検討し、来訪者の拡大を図るため公式 HP や花の集印帳の販売を実施。
 浜名湖花めぐり集印帳令和 3 年度販売分 326 冊（参考：前年 268 冊、前々年 276 冊）
- ⑤ ガストロノミーツーリズム推進事業
- ・郵便局物販カタログ「浜松・浜名湖よくばり三昧」の PR
 東海 4 県の 2,248 の郵便局窓口にて販売（令和 3 年 4 月から 7 月末）
 13 事業者、19 商品 販売実績：1,350 万円
 - ・飲食店周遊施策の実施

「がんばろう浜名湖の飲食店 うまいもんスタンプラリー」

期間：令和4年1月8日～3月6日

- ⑥ 浜松・浜名湖ちよい旅ガイド」の企画、催行
観光地域づくりブランド戦略に基づく新たな滞在型プログラムの開発など、現
地発着小旅行サイトである「浜松・浜名湖ちよい旅ガイド」の充実・強化

【令和3年4月1日～令和4年3月31日までの実績】

滞在プログラム数延べ 72件（昨年71件）

参加施設 55施設（昨年51施設）

送客実績 368名（昨年69名）

※緊急事態宣言発令により8月12日～9月30日は催行休止

(2) 浜松まつり組織委員会及び同委員会広報宣伝部の管理運営（事務局）

[令和3年度浜松まつり]

令和3年5月3日（月・祝）～5日（水・祝）

関係者のみ（無観客）で、凧揚げのみ開催

参加実績 89町 5,880人

① 浜松まつり組織委員会

- ・浜松まつり組織委員会役員会

日時 4月5日（月）15時～

会場 浜松市役所本館5階 庁議室

議題 令和2年度浜松まつり組織委員会収支決算見込みについて
令和3年度浜松まつり事業計画（案）について
令和3年度浜松まつり組織委員会収支予算（案）について

- ・浜松まつり組織委員会役員会

日時 4月23日（金）14時30分～

会場 浜松市役所本館5階 庁議室

議題 令和3年度浜松まつりについて

- ・浜松まつり組織委員会総務部会

日時 7月28日（水）10時30分～

会場 こども館分室 ここいーらギャラリー3

議題 総務部員の委嘱

令和4年度役員選任

令和4年度浜松まつり参加申込・誓約書について

- ・浜松まつり組織委員会役員会

日時 9月2日（木）10時～

会場 浜松市役所本館5階 庁議室

議題 代表委員長の選任

総務部員の承認

統監部員の追加承認

令和4年度浜松まつり参加申込・誓約書について

・浜松まつり組織委員会総務部会

日 時 11月15日(月)13時30分～

会 場 こども館分室 ここいーらギャラリー2

議 題 令和4年度浜松まつり参加希望町について
令和4年度浜松まつりワッペンについて
令和4年度風落下対策負担金について
令和4年度風搬入用車両駐車について

・浜松まつり組織委員会役員会

日 時 12月23日(木)11時～

会 場 浜松市役所本館5階 庁議室

議 題 令和4年度浜松まつり参加希望町について
令和4年度浜松まつりの日程について
令和4年度浜松まつり交通規制について
令和4年度ポスターデザインについて

・浜松まつり組織委員会役員会

日 時 1月31日(月)16時～

会 場 浜松市役所本館5階 庁議室

議 題 令和4年度浜松まつりについて

・浜松まつり組織委員会役員会

日 時 3月25日(金)10時～

会 場 浜松市役所本館5階 庁議室

議 題 令和4年度浜松まつりについて

・浜松まつり組織委員会総務部会

日 時 3月28日(月)14時～

会 場 こども館分室 ここいーらギャラリー2

議 題 令和3年度浜松まつり組織委員会収支決算見込みについて
令和4年度浜松まつり事業計画(案)について
令和4年度浜松まつり組織委員会収支予算(案)について

② 浜松まつり組織委員会広報宣伝部

・第1回浜松まつり組織委員会広報宣伝部役員会

日 時 11月4日(木)15時～

会 場 こども館分室 ここいーら小会議室2

議 題 役員の選任
令和3年度浜松まつり事業報告
令和4年度浜松まつり事業計画(案)

(3) はままつ都市型レンタサイクル推進協議会（事務局）

令和3年3月31日をもって解散。所有自転車は、呉竹グループや観光協会などで活用。

(4) 地域特産品販路開拓支援事業（事務局）

浜松・浜名湖地域が全国に誇る特産品や観光振興につながる商品をまとめたカタログギフトの作成、販売等を行うことで、観光誘客につなげる。

① 浜松・浜名湖物産振興協議会の運営

- ・浜松市及び特産品事業者からなる「浜松・浜名湖物産振興協議会」の事務局として、カタログギフトの作成及び連絡調整等の事業を行う。
- ・カタログギフト事業の具体的な業務としては、カタログ掲載事業者との契約／商品の受注連絡／発送確認／代金支払い／販売委託先との契約／納品／販売数管理／カタログ、注文ハガキ等の作成／PRチラシ、ポスターの作成／HPの作成など
- ・今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により影響を受ける地場産品の生産事業者及び販売事業者を支援するため浜松市と協力し、オンラインアンテナショップ事業を展開した。

【カタログギフト事業概要】

商品掲載事業者	: 44 事業所
掲載商品数	: 70 商品
販売金額	: 5,500 円（税込）
販売期間	: 令和3年4月～令和4年1月末日まで
販売窓口	: ビューロー事務所、株式会社共栄商会、株式会社海老仙、株式会社谷島屋（浜松本店）、新居町商工会、浜松市公式オンラインショップ「はままつ出世マーケット」
販売手数料	: 物産振興協議会1割、販売委託先1割
販売実績	: 4,354 冊（前年 807 冊）

【浜松市公式オンラインショップ「はままつ出世マーケット」】

開設日 : 令和3年10月12日
取扱商品 : 133社 485商品
運営事業者 : 株式会社ヤタロー

【Web物産展「はままつ出世市場」】

第1回 令和3年10月20日～11月26日
第2回 令和3年11月26日～12月27日
第3回 令和4年1月7日～2月14日
第4回 令和4年2月14日～3月11日

4 観光プロモーション事業

(1) 観光案内ウェブサイト管理運営

浜松・浜名湖地域の観光情報サイト「浜松・浜名湖だいすきネット」の管理運営

・令和3年度実績

訪問数 630,015 (前年比 91%)

ページビュー数 1,547,759 (前年比 101%)

・編集部 Pick Up!の定期的な記事更新 18本

・YouTube ジェンヌちゃんねるによる浜松・浜名湖の魅力情報配信

動画制作数 60本 (総本数 101本 2019.8~2022.3末現在)

チャンネル登録者数 1,250人 (2022.3月末現在) 前年比 330%

総再生時間 3,930時間 (2022.3月末現在) 前年比 373%

(2) 国内セールスプロモーション事業

① 浜名湖観光圏整備推進事業

報告事項なし

⑥ 東京、大阪、名古屋等でのプロモーション

7/26 KNT-CT 中部観光商談会 (名古屋)

③ 静岡県大型観光キャンペーン推進協議会事業推進部会西部地域会議 (旧：DESTINEーションキャンペーン推進部会西部地域会議) の運営

10/29 名古屋エージェントセールス (4社)

11/18-19 首都圏エージェントセールス (8社)

11/25-26 大阪エージェントセールス (7社)

④ 各種媒体への広告掲載

【静岡新聞】

・海の湖 HAMANA ジェンヌ委嘱式

・万葉植物でスカーフ染め 海の湖 HAMANA ジェンヌが体験

・海の湖 HAMANA ジェンヌ 静岡県立湖北高校佐久間分校 特別講義

・浜名湖花めぐり集印帳

【読売新聞】

・浜名湖花めぐり集印帳

【中日新聞】

・浜名湖花めぐり集印帳

【るるぶ】

るるぶ浜松 23」の巻頭特集 (浜松・浜名湖 (+三河) エリアの絶景を紹介

【昭文社】

・にゃっふる昭文社 浜松餃子紹介

- ・ことりっぷ web アメイジングガーデン浜名湖 PR

【テレビ朝日】

- ・スポーツパラダイス

【流行発信】

- ・おでかけドライブ 浜名湖花フェスタ PR
- ・NAGOYA. 浜名湖花フェスタ PR

(3) 海外インバウンド事業

① インバウンド推進事業

- ・日本の観光物産博 2021 オンライン 12/5WEB ライブ配信 浜松城にて
開催日：令和3年12月4日（土）～5日（日）
場 所：台北駅での観光物産博

② 県内連携事業

- ・富士山静岡空港利用促進協議会
令和3年7月6日（火） 令和3年度総会（グランディエール ブケトーカイ）

・教育旅行誘致事業

長野県向け教育旅行誘致説明会（オンライン）9/16

山梨県向け教育旅行誘致説明会（オンライン）9/17

静岡県内教育旅行誘致を推進する伊豆、富士、中部、中東遠、西部の5地域から教育旅行セミナーを開催。

山梨県からの修学旅行は7校 361名宿泊（前年14校684名）

長野県からの修学旅行は1校 41名宿泊（前年は0校）

静岡県86校6,819名（前年56校4,246名）

全体では113校 10,846名（前年75校5,610名）

宿泊する学校にはウェルカムギフトを贈呈

③ 広域連携事業

- ・三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会
世話人会・幹事会（令和3年6月24日（木））
- ・東海地区外国人観光客誘致促進協議会
WGへの参加（令和3年4月21日（水）書面決議）
総会 令和3年6月29日（火） 書面総会

5 その他観光振興に関する事業

(1) 各委員会への参画

- ① バイクのふるさと浜松実行委員会
- ② 浜松市文化振興財団理事会
- ③ 浜松国際ピアノコンクール実行委員会

- ④ 浜名湖地域舟運都市構想研究会
- ⑤ 浜名湖アートクラフトフェア実行委員会
- ⑥ 静岡国際オペラコンクール推進委員会
- ⑦ 浜松市花みどり振興財団理事会
- ⑧ 浜松 21 世紀都市交通会議
- ⑨ 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会西部地域検討部会
- ⑩ ユネスコ音楽都市はままつ推進事業実行委員会
- ⑪ 浜松・浜名湖地域 食×農プロジェクト推進協議会
- ⑫ 浜松・浜名湖物産振興協議会
- ⑬ 浜松交通圏タクシー準特定地域協議会
- ⑭ 浜松市ユニバーサルデザイン審議会
- ⑮ 富士山静岡空港利用促進協議会
- ⑯ 富士山静岡空港利用促進協議会就航促進・利用拡大委員会
- ⑰ 中部の観光を考える百人委員会
- ⑱ 三遠南信・伊勢志摩広域観光連携協議会
- ⑲ 昇竜道連絡調整会議
- ⑳ 浜松地域の産業観光を推進する会
- ㉑ 出世の街浜松 家康公祭り実行委員会
- ㉒ 浜名湖ミナトリング実行委員会
- ㉓ 浜松吹奏楽大会 2022 実行委員会
- ㉔ 浜松市スマート I C 地区協議会
- ㉕ はままつ響きの創造プロジェクト実行委員会
- ㉖ ビーチ・マリンスポーツ推進協議会
- ㉗ ラグビーワールドカップ 2019 大会及びオリパラ大会に向けた浜松・浜名湖誘客実行委員会
- ㉘ 浜名湖キューバヘミングウェイカップ大会役員会
- ㉙ 浜名湖キューバヘミングウェイカップ大会実行委員会
- ㉚ 湖西市観光振興協議会
- ㉛ 浜松市中小企業振興会議
- ㉜ 浜名湖地域振興・減災協議会
- ㉝ ブラジルホストタウン推進浜松市民会議
- ㉞ 浜松創造都市推進会議
- ㉟ 浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム運営委員会
- ㊱ 静岡県立美術館第三者評価委員会
- ㊲ 浜松歴史的風致維持向上委員会
- ㊳ 歴史資源を活用した誘客・周遊促進事業推進協議会
- ㊴ 第 19 回 WR0 Japan 決勝大会 in 浜松実行委員会
- ㊵ 浜松・浜名湖観光地域づくり協議会
- ㊶ 浜松商工会議所 観光サービス部会
- ㊷ 浜松ホテル旅館協同組合
- ㊸ 浜松・三ヶ日農泊推進協議会
- ㊹ 美しい邑くんま推進協議会

- ④⑤ 静岡県サイクルツーリズム協議会
- ④⑥ 太平洋岸自転車道推進静岡県地区協議会
- ④⑦ 太平洋岸自転車道「日本風景街道ルート」連絡会
- ④⑧ 静岡県サイクルスポーツの聖地創造会議
- ④⑨ 浜名湖サイクルツーリズム災害連携社会実験協議会
- ⑤⑩ 海と日本プロジェクト in 浜名湖 実行委員会
- ⑤⑪ 浜松市文化財保存活用地域計画策定検討会
- ⑤⑫ 静岡県大型観光キャンペーン推進協議会事業推進部会西部地域会議
- ⑤⑬ 静岡県大型観光キャンペーン推進協議会
- ⑤⑭ 駿河湾フェリー外部専門家会議
- ⑤⑮ 家康プロジェクト推進協議会設立準備会
- ⑤⑯ 家康プロジェクト推進協議会
- ⑤⑰ 家康プロジェクト推進協議会誘客宣伝分科会

公2 コンベンションを中心としたMICE支援事業

コンベンションを中心としたMICEの誘致及び主催者への支援を実施することで、本地域への交流人口の拡大を図り、地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

1 コンベンションMICE誘致事業

(1) 首都圏・名古屋・静岡等への誘致活動

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置対象期間の約7ヶ月間は訪問による誘致活動は自粛（延べ 14日間 / 76件）

(2) 市内及び周辺地域の大学、団体等への定期的な訪問活動

大学・医療施設等へのアポイント訪問に限り実施（延べ 年間 17件）

(3) コンベンション運営会社との連携

名古屋・首都圏PCOへの個別訪問のほか、各種支援相談対応

(4) 浜松地域コンベンション誘致対策協議会の運営

令和3年3月16日 呉竹荘「平安の間」にて開催

令和3年度事業報告と令和4年度ポストコロナMICE誘致支援戦略

静岡県観光協会ゲストスピーチ 静岡県観光重点施策とMICE戦略の方向性

(5) JNTO、JCCB、関係団体が開催する商談会、展示会等への参加

①商談会・展示会への参加

- ・第31回国際MICEエキスポ（IME2022）

開催日 2月16日～17日

形態 オンライン

商談数 14件

参加者 150名

- ・第69回応用物理学会春季学術講演会 JASP EXPO Spring 2022

開催日 3月22日～26日

会場 青山学院大学相模原キャンパス（ハイブリッド開催）

案内数 約150件

参加者 約2,000名（現地）

②会議、協議会等への参加

6月8日 JCMA（日本コンベンション協会）第6期社員総会（オンライン）

6月25日 JCCB（日本・コングレスコンベンションビューロー）通常総会（オンライン）

9月30日 中部コンベンション連絡協議会（オンライン）

1月6日 コンベンションビューロー部会 前編（オンライン）

- 1月13日 コンベンションビューロー部会 後編（オンライン）
- 1月31日 中部コンベンション連絡協議会講演会（オンライン）
- 2月14日 静岡県コンベンション推進協議会（オンライン）
- その他セミナー等へ参加

(6) 他都市・関係企業との連携活動

- ・12月2日 四都市コンベンションビューロー第15回連携会議
*四都市：長野・鳥取・福井・浜松
- ・その他、他地域ビューローとの情報交換等を不定期で実施

(7) コンベンション開催助成金制度検討

- ①新型コロナウイルス感染症予防対策助成金
昨年度と同じ内容で下期10月から実施した
引き続き令和4年度に向けた調整を行ったが予算内運用が困難となった
- ②ハイブリッド開催支援助成金制度の検討
令和4年度開始に向けた調整を行ったが予算内運用が困難となり新設出来ず

(8) 誘致資料の作成と広報

- ・浜松・浜名湖コンベンションガイド日本語版2,000部増刷、英語デジタル版更新
- ・支援制度案内チラシ（10,000部）作成
- ・5年カレンダー（誘致助成支援制度案内情報付）6,000部増刷
- ・抗菌マスクケース 3,000部
- ・展示会ブース掲載用アクトシティ浜松B1ポスター作成
- ・コンベンション専用サイト（英語版）を開設し、英語の誘致情報発信を開始
- ・「EventBiz Vol.24」 浜松市のユニークベニューについて記事掲載
- ・「日本工学会年報 第60号」支援制度の広告掲載
- ・「MICE JAPAN 2022 3月号」「2022版 MICE PLANNERS GUIDE」支援制度の広告掲載

2 コンベンション主催者への支援事業

(1) コンベンション開催支援の実施

- ①コンベンション開催助成金
 - ・令和3年度浜松コンベンション開催助成金の交付

〈国際会議助成金〉	交付0件（申請4件）
〈国内会議宿泊助成金〉	交付5件 1,153,500円（申請26件）
〈アトラクション助成金〉	交付0件（申請5件）
〈その他助成〉	
 - ・新型コロナウイルス感染症対策助成金 交付1件 200,000円（申請2件）
 - ・事前現地視察等調査助成金 交付0件（申請0件）

交付助成金合計 1,353,500 円 (予算比 12.3%)

〈辞退内訳〉

国際会議助成金 (オンライン)	学会	3 件
(延期)	学会	1 件
宿泊助成金 (ハイブリッド)	学会	3 件
(オンライン)	学会	4 件
	全国大会	3 件
(書面開催)	全国大会	1 件
(中止)	全国大会	3 件
	スポーツ大会	7 件
新型コロナ感染症対策助成金		
(ハイブリッド)	医学系学会	1 件
アトラクション助成金		
(オンライン)	国際会議	1 件
	学会	1 件
	全国大会	1 件
(中止)	国際会議	1 件
	全国大会	1 件

・令和4年度浜松コンベンション開催助成金の申請

8月 国際会議助成金審査書面決議 1件

3月 国内会議宿泊助成金審査会 国内25件、国際1件

②視察受入・アテンド

5月 医学系全国会議 (アクト) /事務局2名

6月 医学系全国会議 (アクト) /主催者3名、PCO2名

6月 大学研修会議 (アクト、ホテル、産業観光等) /主催者1名

7月 同・表敬訪問 (浜松市) /主催者2名

8月 工学系国際会議 (アクト) /主催者3名

9月 同・視察打合せ (アクト) /主催者5名

11月 工学系国際会議 (アクト) /主催者1名

11月 福祉系全国会議 (アクト) /主催者3名

12月 工学系全国会議 (アクト、ホテル) /主催者2名

1月 工学系国際会議 (アクト) /主催者2名

2月 医学系全国会議 (アクト、ソラモ他) /主催者4名、PCO 2名

③コンベンション・イベントの歓迎案内「浜松駅構内デジタルサイネージ」掲出

申請受付6件 実施4件 (Web開催変更に伴う辞退2件)

その他、コロナ感染症予防対策啓発、緊急事態宣言告知等7件

④歓迎ステッカーの掲出

受付1件、中止1件

⑤コンベンション・イベントの後援

後援名義貸与 18件（申請23件、中止5件）

⑥その他各種支援

- ・観光パンフレット・割引券等の提供
- ・通信回線強化サポート（専門家取次）
- ・土産品協会販売ブース設置
- ・インフォメーションセンター・ビューロー事務所に資料配架、ポスター掲示

(2) コンベンション支援資料の作成と広報

①アフターコンベンション資料の作成

浜松市街地のグルメガイド制作は、サーバー移管及びサイト維持継続

②MICE開催地案内チラシ 5,000部

③ホームページの更新

施設情報、感染症対策等の情報更新

④360度パノラマ写真の撮影及びホームページ・Googleマップ掲載

(3) その他事業

- ・ユニークベニュー、施設、会場等の調査研究
- ・スポーツイベント・大会誘致に向けた関連事業者との連携

3 コンベンション関連情報の収集・分析事業

(1) 主催者等へのコンベンション開催意向調査

コンベンション開催主催者（事務局）に対し、コンベンション名、開催予定日参加予定数、宿泊の有無等を確認する意向調査を実施

上期実施：6月・7月 訪問件数：23件 前年11件 前年比 209%

下期実施：10月・12月（16件）訪問件数：17件 前年比 170%

(2) 国際会議統計への情報提供

日本政府観光局（JNTO）報告

- ・2019年（暦年）国際会議・大会 15件開催
- ・2020年（暦年）国際会議・大会 現地開催0件（申請6件）
- ・2021年（暦年）国際会議・大会 現地開催0件（申請4件）
- ・2022年（暦年）国際会議・大会 2件申請

(3) その他分析

JTB総合研究所分析調査

MICE都市パワーインデックスに見る浜松のMICE都市力調査（3月実施）

公3 公共施設管理運営事業

浜松市より受託している「浜松市観光インフォメーションセンター」において、来訪者に対し、観光、イベント、交通、飲食、宿泊等に関する各種情報を提供するとともに、市民団体(観光・通訳ボランティア)との連携による地域全体でのホスピタリティ溢れる対応により利用者の利便性の向上を図る事業を推進することで、地域社会の健全な発展に貢献することを目的とする。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月20日～9月30日の間、電話での案内対応業務のみとし、対面での案内業務を休止した。

1 浜松市観光インフォメーションセンターの管理運営

- ・観光、イベント、地域情報等の収集、案内
- ・パンフレット・チラシ等の収集、配置及び配布
- ・観光イベント等の最新情報の収集
- ・利用者にわかりやすい資料の作成、配布
- ・市内各観光案内所への情報提供
- ・パンフレット等の郵送請求への迅速な対応
- ・観光PRのための自主事業の実施
- ・浜松市土産品協会と連携し、特産品・土産品を展示
- ・観光ボランティアコーナーの設置
浜松ボランティアガイドの会及び通訳ボランティア HELP の会と連携
- ・Wi-Fiによる情報提供
- ・接遇研修への参加

	来場者数(人)		※()はR2実績	
	日本人		外国人	
4月	3,917	(1,604)	23	(18)
5月	3,121	(1,055)	42	(6)
6月	3,125	(3,163)	10	(27)
7月	3,448	(3,254)	17	(33)
8月	2,122	(3,269)	27	(43)
9月	0	(3,950)	0	(32)
10月	3,802	(4,289)	36	(27)
11月	4,575	(4,009)	24	(33)
12月	4,935	(3,162)	23	(60)
1月	4,078	(2,290)	23	(30)
2月	2,525	(2,544)	23	(21)
3月	4,474	(3,788)	32	(34)
合計	40,122	(36,317)	280	(364)

JNTOが認定する「外国人観光案内所」は立地・機能等により1～3の3つのカテゴリーにランク分けがされており、当観光案内所は、「カテゴリー2」(少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐。広域の案内を提供。)に認定されている。無料Wi-Fiを設置し、来訪者の利便性の向上に努めるとともに、インターネットによる英語・中国語・韓国語の観光情報の発信も行うなど、インバウンドの受入環境の整備にも力を入れている。

Ⅲ その他事業活動報告

他1 会員サービス事業

地域全体で観光・コンベンション等による来訪者へ満足度の高いおもてなしを実施するため、会員間における情報交換・共有を通してのスキルアップを図るとともに、当財団の活動に対する理解を得ることによる、当財団の基盤・組織力の強化を目的として、賛助会員を対象とした各種事業を行う。

1 会員への情報提供

(1) マーケティング調査結果等の観光関連資料の提供

- ・官公庁（観光庁、県、浜松市、湖西市など）、ビューローが実施する各種調査結果の提供。

(2) メールマガジンの配信（月1回）

- ・官公庁、ビューローからの情報提供
- ・会員から情報を募集しての各種情報提供

(3) 会員情報誌の発行（年2回）

- ・ビューローの事業報告や告知等に加え、浜松・浜名湖地域で奮闘している人や企業を特集する企画や、財団における取組の紹介、その他各種お役立ち情報を掲載する。

【Hamanako ふれす 第7号】

発行時期 8月

発行部数 1,000部

【Hamanako ふれす 第8号】

発行時期 1月

発行部数 1,000部

次回の第9号は次年度8月に発刊予定

2 観光関係優良従業員の表彰

日程 2月21日（月）

会場 オークラアクトシティホテル浜松

表彰者 16名

記念品 天竜ひのきを活用した海の湖ロゴ入り「大型スマホスタンド」
賛助会員である㈱キャッツアイビーの商品

3 情報交換会「賛助会員の集い（観光セミナー）」の開催

- 日 程 2月21日（月）
- 会 場 オークラアクトシティホテル浜松
- 内 容 観光セミナー：塚本こなみ氏による講演
テーマ「感動をお渡しするために」
※新型コロナウイルス感染対策のため会員限定オンライン配信